

災害から自分の身を守りましょう！

災害はいつ発生するか分かりません。適切な避難行動や避難のタイミングは、各人がおかれた状況により異なります。

緊急時には、避難情報や周囲の状況などを確認し、自らの判断で適切に避難ができるよう、日ごろから備えておきましょう。

保存版

防災チェックシート

- 災害の種類毎に、災害危険箇所、避難場所、避難経路(避難経路上の危険箇所を含む)を確認する。

【災害の種類】

☐ 土砂災害 ☐ 洪水 ☐ 高潮 ☐ 津波 ☐ 地震

【確認方法】

☐ ハザードマップで災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認

- 非常持出品を準備する

次の非常持出品のうち、下線を付した物は必ず準備する。非常持出品は、すぐに持ち出せる場所で保管する。

【非常持出品(例)】

☐ 飲料水 ☐ 食料 ☐ 常備薬 ☐ 懐中電灯 ☐ ラジオ
☐ マッチ又はライター、ローソク ☐ スリッパ ☐ 携帯トイレ
☐ 救急箱 ☐ 下着・靴下 ☐ 衣類 ☐ 予備の電池 ☐ 携帯充電器
☐ 軍手 ☐ ポリ袋 ☐ ヘルメット
☐ テッシュペーパー、ウェットティッシュ、タオル
☐ 保険証 ☐ 貴重品(現金・通帳・印鑑・権利証等)



広島市から発令される避難情報について確認しましょう！

- 広島市から発令される避難情報には、以下のものがあります。

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難準備・

高齢者等避難開始

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)は避難を開始しましょう。

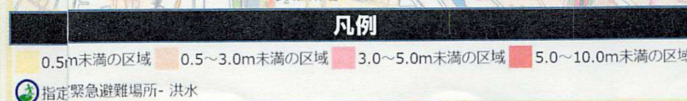
避難勧告

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

避難指示(緊急)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- 外出することであって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

古市学区防災マップ



風水害

風や雨がもたらす災害にもいろいろあります。ここでは、台風と集中豪雨について詳しく学んでみましょう。



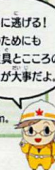
台風
台風は主に北西太平洋や南シナ海で発生。自分の住む場所が道路の左側か右側かで風と雨の強さが違います。



集中豪雨
短時間で集中して降る大雨のこと。最近では、もっと短時間でせまい範囲に降るゲリラ豪雨も増えています。

知っとこ！防災ポイント

- 手足や長靴はダシ！ひもでしめる運動靴をはこう。
- はぐれないように、ロープでお互いの身体を結ぼう。
- 腰まで浸る場合は無理せず高い所で待つこと。
- 水面下の危険をさけるため、長い棒を持って歩こう。
- 持ち物があればしっかり歩きをして、安全を確保しよう。
- 水の中を歩ける深さは大人の男の人で約70cm。大人の女の人で約60cm。



地震

地面が大きく揺れる地震はどうして起こるのでしょうか？そのしくみと避難のしかたを知っておきましょう。

地震の種類

地震は、時と場所を選ばず、様々な形で起こりますが、主に海溝型地震と内陸型地震の2つに分けられます。海溝型地震は、海のプレートが陸のプレートにもぐりこむことによって起きる地震で、内陸型地震は、陸地の下で活断層がずれて起きる地震です。



知っとこ！防災ポイント

- 家の中の安全な場所と危険な場所を考えよう。
- 避難場所はどこがいいのか考えよう。
- 安全に避難できるルートを考えよう。
- 家族のみんなと集合場所を決めておこう。
- 災害用伝言ダイヤル「171」の活用方法を知っておこう。
- 災害時に持ち出すもの考えておこう。

